

私のすすめるこの1冊

角野 容子 (附属図書館職員)

『この辞書・事典が面白い! : 「辞書」「事典」「図鑑」ベストランキング発表』

室伏哲郎 (監修)

みなさんは知らない言葉を調べる時にどうやって調べますか? 今は「インターネット」という回答がかなり多いことでしょう。私自身、私的な調べ物はもちろん、仕事でもよく使います。全国の図書館のレファレンス(調べもの)事例を集めるレファレンス協同データベース(国立国会図書館)でも、「〇〇な登場人物が〇〇をする話を昔読んだんだけど、何の本だったか…」等の漠然とした質問に、インターネットでまずキーワード検索をして手掛かりを探す、といった事例はよく見られます。便利な時代になったものです。

では質問を変えましょう。

「知らない」ということに気付くためには、どうすればいいのでしょうか? 変な質問ですが、自分の中に意識もしなかった言葉や事象は、そもそも調べようという機会すら持ちません。しかし、辞書や事典を調べる時、自分が引こうと思った事柄と同じページに載っているものも、自然と目に入ってきます。新しい項目をクリックする必要もありません。それがすぐに役に立つかというところでもないかもしれませんが、偶然の出会いを楽しむのも、紙の辞事典の魅力と言えるでしょう。

本書はその魅力的な辞事典の世界を、「国語辞書」「英語辞書」「事典」「図鑑」「電子辞書・事典・図鑑」の5つの章に分けて、その分野の専門家がランキングをつけたり解説を加えたりしているものです。ランキングは執筆者の個人的な感想や使い勝手が含まれるため、

必ずしも自分に合っているとは限りませんが、その分野でどのような辞事典があるのか、どのような特徴を持っているのか、といったことがわかります。事典の項目は特に多彩で、「日本古代人名事典ベスト10」や「経済・金融がわかる事典ベスト10」、はては「はみだし受験生向き事典ベスト10」などというランキングも載っており、読み物としても楽しめます。

本書に見られるのは、辞事典への愛とまっとうな批判精神です。何にしてもそうですが、完璧な検索ツールなど存在しません。たとえば読み方を勘違いしている言葉は、五十音順に並んでいる国語辞典では簡単には調べられません。また、新語や用例の変化への対応など、紙の辞事典がかかえる課題にも触れています。

余談ですが、「辞書で性的な言葉を調べる」というのが男子中学生の通過儀礼的に語られることがままあります。これがどのくらいの割合なのか真相は知りませんが、こっそりなずく人もおられるのではないのでしょうか。本書の編者もその「通過儀礼」を体験した身であり、その「猥雑な」知的好奇心をおおらかに受け入れています。世界の万象に導くものとしての辞事典を、より身近に感じられる解説書となっていますので、ぜひぱらぱらとめくって気になるところだけでも読んでみてください。そしてぜひ図書館の辞書や事典をめくって、その深い世界に足を踏み入れてみてください。

図書館からのお知らせ

夏季休業に伴う長期貸出について

院生・教職員は7月10日(金)～9月4日(金)、学部生は7月24日(金)～9月18日(金)の期間に借りた図書の返却期限日が、10月3日(土)になります。

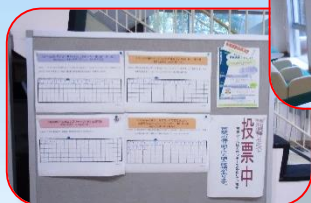
※視聴覚資料を除く

※一般利用者・卒業生を除く

※前期で修了予定の方は、返却期限日が9月10日(木)になります。

特別選書リクエスト投票受付中!

小説やレシピ本など、軽く読める本をみんなで選ぶ、「特別選書リクエスト」を実施しています。6月下旬から7月中旬にかけて応募された本に対して、8月11日まで投票を受け付けています。投票シールは1日1枚、本を返却するとさらに3枚もらえますので、「この本はぜひ図書館に入れてほしい!」と思うものにどんどん投票してください。



図書館員のつぶやき(7) ～レファレンスカウンターより～

7月からレファレンスカウンターを設置し、交代制で職員が座って相談を受け付けています。場所は渡り廊下のOPAC(蔵書検索)端末横。ここに座っていると、図書館に来る人のさまざまな姿を見ることができます。新着コーナーは必ずチェックする人、まずOPACで調べ物をする人、通り抜けをする人。時々、ラウンジの自販機が利用される音も聞こえます。図書館を利用する人にとって、レファレンスカウンターも図書館の風景の一部になっていけばいいな、と思っています。



雑誌の製本作業について

8月から10月初旬(予定)まで、南館1階の新着雑誌コーナーにある雑誌のうち、2014年発行分を中心に一部巻号が製本のため利用できなくなります。製本後は西館3階書庫に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

職場体験終了報告

7月1日(水)～3日(金)に附属桃山中学校、7月30日(木)～31日(金)に附属特別支援学校から、それぞれ職場体験実習の受入を行いました。カウンターでの貸出・返却業務の他、雑誌登録やラベル装備、他大学からの文献複写の受付処理など、普段は目にする機会のない図書館業務についても体験してもらいました。

みなさまにはご協力いただき、ありがとうございました。

レファレンスカウンター (相談カウンター)を設置しています



「授業で課題が出たけど、どうやって資料を探せばいいのかな」「論文に必要な資料だけ図書館にあるのかな」といった文献探しをお手伝いいたします!お気軽にレファレンスカウンターでお尋ねください。

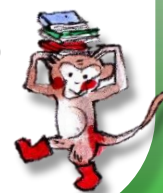
【受付時間】月～金

9:00～12:30、13:30～17:00

【職員常駐時間】

月・火・木・金 13:30～15:00

【場所】1階渡り廊下



Pickup!コ～ナ～「視聴覚資料」

どこ? 北館 2 階視聴覚室の中にあります。

どんな本があるの?

CD や DVD、ビデオテープなどの視聴覚資料が置いてあります。AV ブース (要申込) で視聴することもできます。

こんな本を Pickup!

- ・『決定盤!!小学生のためのクラシックベスト』(CD) C-1||KE 63
- ・『中学教師 鹿嶋真弓の仕事：人の中で人は育つ (プロフェッショナル：仕事の流儀)』(DVD) D-3||N 77
- ・『うさぎドロップ』(DVD) D-7||U 91 ※貸出不可



他にもいろいろありますよ～



企画展示室

ぜひ、ご覧ください!

告知 公開講座「楽しい塑造教室」作品展

本学の木代喜司名誉教授、谷口淳一 (美術科) 教授の講師による公開講座『楽しい塑造教室—頭像とテラコッタ作り—』(現職教員、一般市民対象) の作品展が開催されます。みなさんぜひご覧ください!

【日時】2015年8月19日(水)～23日(日)
※土・日も開催
10:00～16:50 (最終日は16:00迄)
【場所】図書館北館1階 企画展示室

公開講座の制作風景→



開催中 美術領域 1 回生 美術展

【主催】美術科
【企画】美術領域・基礎セミナー
【日時】2015年7月27日(月)～8月7日(金)
9:00～17:00
【場所】附属図書館北館1階 企画展示室



美術展の展示風景↑

えほんのもい (場所：児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、
8月17日(月) 15:00～ です。

今月の絵本カードは
こちら!

★おすすめポイント★
仲良しな ねずみの家族のお話に ほっこりします。絵が細かいので見るだけでも楽しくなります。



『ねずみのかいすいよく』
山下 明生 作/いわむら かずお 絵

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

開催中 第4回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー

【期間】6月15日(月)～12月5日(土)
今年も大学ミュージアムへ!
京都の大学ミュージアムをまわって「知」と「美」と「素敵な景品」を手にしよう!

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品:8月
「トウヨウソウの白歯化石 (レプリカ)」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てください!



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 垣内 幸夫(音楽科 教授)

近現代における蘇州弾詞の調(流派)に関する一考察

垣内幸夫

京都教育大学紀要. 2015, No.126, pp.139-153

私は40年近く日本の語り物音楽である義太夫節(人形浄瑠璃のための三味線音楽)について研究を行って来ました。最近の8年間は東アジアに視点を広げ、現地でのフィールドワークを展開し、日本の義太夫節・韓国の語り物音楽を代表するパンソリ・中国の蘇州弾詞に関する比較研究を進めています。この論文では蘇州弾詞の調(流派)について考察しました。蘇州弾詞は明末の時代に蘇州に生まれ、清の時代に至って多くの名人を排出し、上海を含む揚子江の下流地域で大いに流行した芸能です。伴奏楽器には三弦と琵琶が用いられます。義太夫節が江戸時代の太夫で語られるように、蘇州弾詞は今も蘇州の方言で演じられています。

調という言葉を知ると、私たち日本人はハ長調・イ短調の調を連想しますが、蘇州弾詞では演奏の規範となる流派を意味します。義太夫節ではこれを風と呼び、パンソリでは制又はパディと言います。義太夫節の全ての風は江戸時代に生まれ、今日まで伝承されて来ました。一方、蘇州弾詞では20世紀に新しい調(流派)が20数種生まれ、現在に至っています。

私の研究方法は、1900年代の初めに録音された最初期の音源によって演奏を分析し、伝承者(人間国宝を含む)にインタビューを行い、20世紀初頭の演奏とその後の演奏様式の変遷を探求するというものです。今回インタビューを行った3人は85~87歳のご高齢でしたが、実演を伴ったお話しから、蘇州弾詞に対する熱い思いがひしひしと伝わって来ました。

どの国にも古くから伝わる素晴らしい芸能があります。それを次世代に伝えることが私たちの大切な役割です。この論文をお読み頂き、是非蘇州弾詞の演奏を聴いてみて下さい。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要126号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2015年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8/7-9/30 夏季休業

8/12-8/14 夏季一斉休業

2015年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

9/2 館内整理日

9/12 入試(学外者の来館不可)

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



●携帯版図書館ホームページ(QRコード)

<http://tosh002.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.179(2015年8月号)

発行日:平成27年8月3日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学